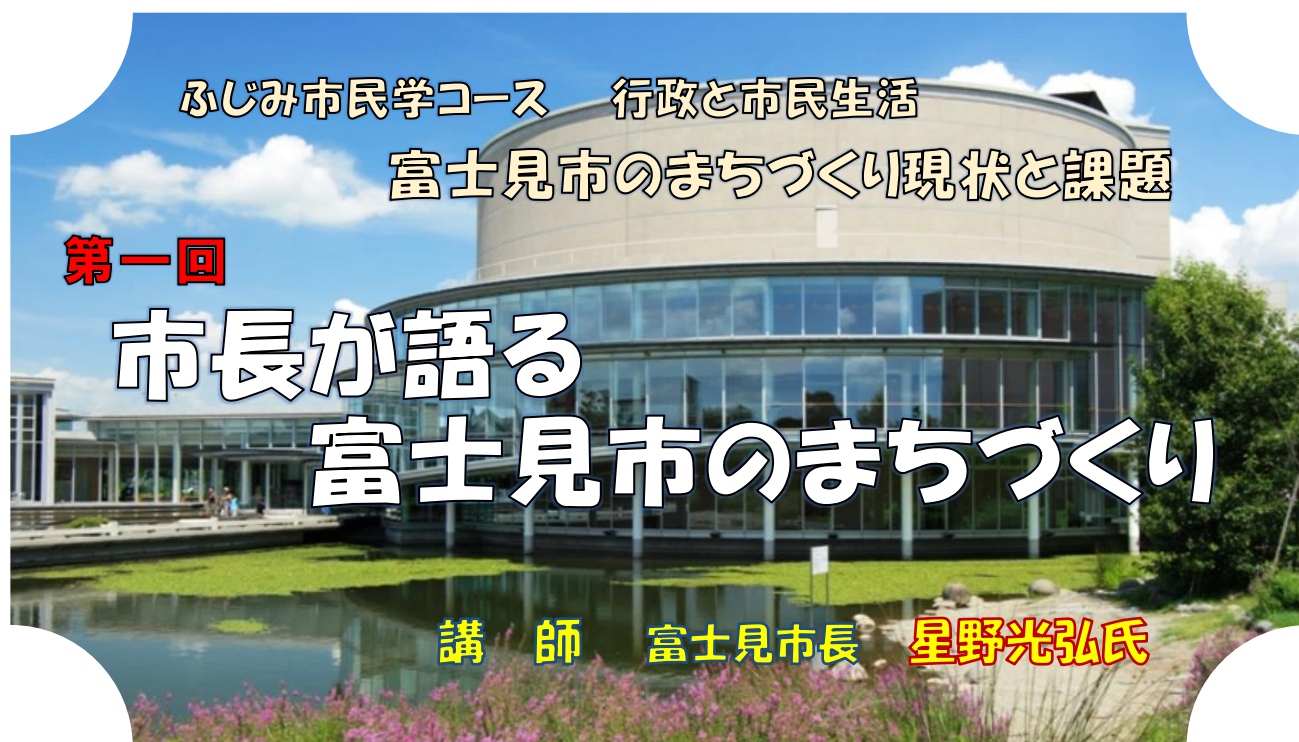




日 時	2020 年 10 月 3 日（土）10:00～12:00
場 所	鶴瀬公民館 第三集会室
講 師	星野光弘 氏（富士見市 市長）
受講者数	29 人

4 3 期「行政と市民生活」の講座は「富士見市のまちづくりの現状と課題」をテーマに 5 回の講座が計画された。

初回の 10 月 3 日（土）は市民大学瀬戸理事長が“コロナ”のため開講が半年遅れの 9 月になった事、感染防止対策を徹底しての実施である事、そのため受講者の制限や“自粛”により、例年に比して 50% 近く減少した旨の話があった。



第一回講座は富士見市長を講師に迎え「市長が語る富士見市のまちづくり」をテーマに行なわれ、講義内容の概要は以下の通り。

1. 第 6 次基本構想

人口動向予測（減少）に伴う 20 年間（令和 23 年まで）の構想
 20 年先の理想の“未来”について市民共通の目標設定

2. 第一次基本計画

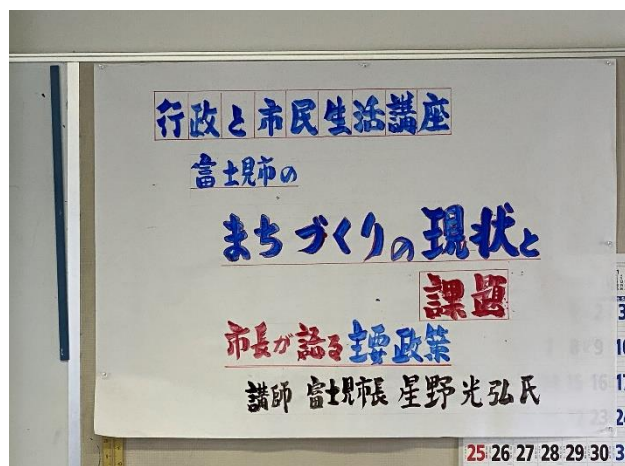
当面 5 年間（令和 3 年～令和 7 年）の計画
 暮らし、つながり、生活環境、成長、を 30 分野にわたる政策と施策

3. 都市計画マスタープラン

概ね 20 年後の都市の将来像

4. 新型コロナウイルス感染症緊急支援策

5. 質疑応答



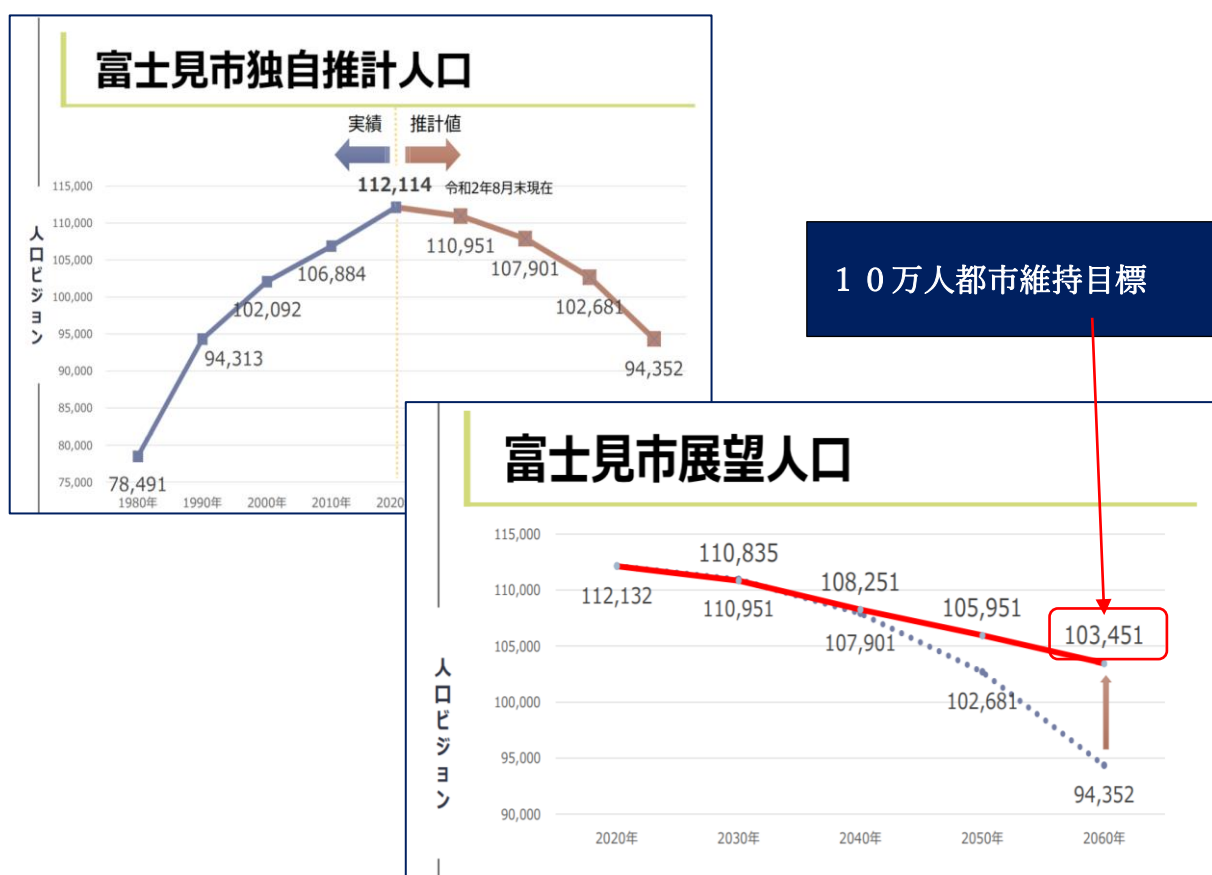
講座のあらまし

1. 第6次基本構想

1. 令和3年～令和23年までの理想の“未来”を定めた20年間の計画。
2. 20年間を5年ごとに分け、令和3年からの5年間を2第1期計画とした
3. 今後の人口動向予測

- ① 2060年には富士見市の人口は112,114人から94,352人迄減少する
- ② 目標：将来においても10万都市を維持。

住みたい・住み続けたい・・・選ばれる“まち”へ

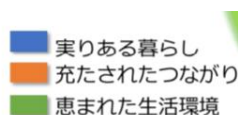


4. 20年先の理想の“未来”について市民共通の目標設定

共通目標：充実した日々

構成要素：
・実りある暮らし、
・充たされたつながり
・恵まれた生活環境
・成長の継続

合言葉：みんなの笑顔☆ふじみ



2. 第一次基本計画

1. 当面5年間（令和3年～令和7年）の計画

暮らし、つながり、生活環境、成長、を30分野に付いての政策と施策



2. 分野の中からいくつかの政策・施策を紹介

① 分野1 子ども・子育て支援

○子どもを育てる環境づくりの推進 「安心して子育てができる」

○妊娠・出産・子育てに関する ワンストップ相談窓口の確立

■ 保育所待機児童数 目標 27人⇒0人

② 分野3 学校教育 「児童生徒一人ひとりが輝く」

○児童生徒一人ひとりの 確かな学力の育成

○教職員の資質向上

■ 「学校に行くのが楽しい」と 回答した児童生徒の割合

目標 80.3%⇒90.0%

- ③ 分野 5 高齢者福祉 「人生 100 年時代を見据えた健康長寿を目指す」
- チェック体制の強化（フレイル（虚弱））
 - 元気の維持策の充実
 - 健康寿命（65 歳から健康で自立した生活を送れる期間）
 - 目標 男性 17.15 年⇒ 17.85 年
 - 女性 19.95 年⇒ 20.65
- ④ 分野 12 地域コミュニティ
- 町会運営への支援
 - 地域まちづくり協議会への支援
 - 協働によるまちづくり 「市民が主役のまちづくり」
 - 地域活動への参加状況
 - 目標 58.1%（H30）⇒ 61.0%（R7）
- ⑤ 分野 22 環境 「身近な環境を守る活動の充実」
- 資源の活用（省エネ・再生可能エネルギー等）
 - 地球温暖化対策の推進
 - ごみの減量化の推進
 - 1 人 1 日当たりのごみの 排出量
 - 目標 728 g（H30）⇒ 709 g（R7）
- ⑥ 分野 25 商工 「楽しく、便利に市内で買物ができる」
- 買物利便性の向上
 - 商店街・個店の活性化
 - 創業支援（創業するなら富士見市へ）
 - 目標 86,981 百万円（R1）⇒ 89,087 百万円（R7）
- ⑦ 分野 29 危機管理 「地域防災力の向上」
- 共助による災害対応体制の推進
 - 自助による災害対応体制
 - 公助による災害対応体制 の推進
 - 3 日分以上の災害用備蓄をしている人 の割合
 - 目標 22.2%（H29）⇒ 50.0%（R7）
- ⑧ 分野 29 危機管理 「新型コロナウイルス感染症対策の推進」
- 新たな生活様式への対応
 - 持続可能な地域経済の実現
 - 感染症に対応して生活している 市民割合
 - 目標 96.4%（R2）⇒ 100%（R7）

3. 都市計画マスタープラン

1. まちづくりの理念や都市計画の目標

まちづくりの理念 **～充実した日々～**

この理念は、個人としての「暮らし」、人と人との「つながり」、それらを取り巻く「生活環境」が円（縁）となり、未来の“まち”を形づくるものと捉えています。また、「成長の継続」が力強く“まち”全体を押し上げるとともに、各要素が相互に作用することにより、**誰もが充実した日々を過ごすことができるまち**にするという願いが込められています。

2. 概ね 20 年後の都市の将来像

1. 将来都市構造図

都市構造は、市街地や集落地などの広がりを示す「土地利用」、商業や産業などの都市機能が集約する「拠点」、幹線道路や河川などの線的に伸びる「軸」により構成します。



3. 将来都市構造図

<土地利用>

- 市街化区域
- 市街化調整区域

(計画的な土地利用の推進)

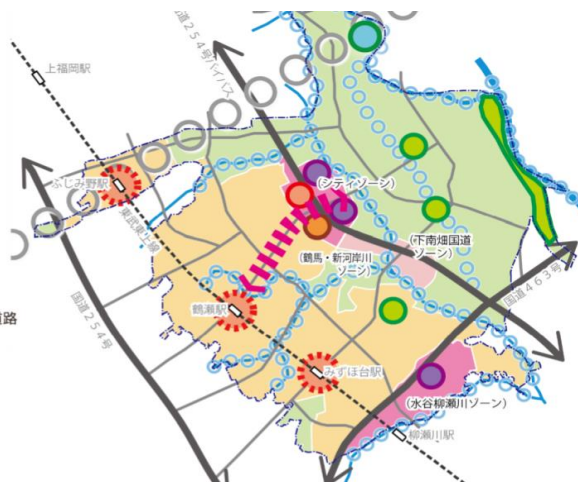
- シティゾーン、水谷柳瀬川ゾーン
- 鶴馬・新河岸川ゾーン、下南畑国道ゾーン

<拠点>

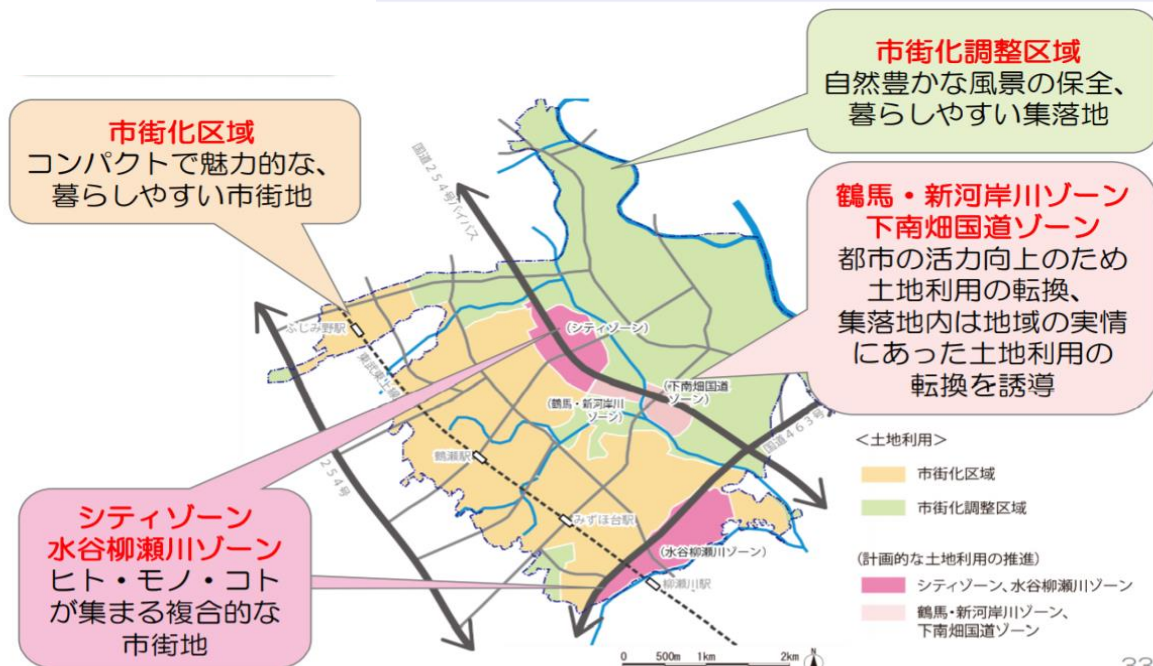
- 駅周辺拠点
- 広域商業拠点
- 産業拠点
- 行政・文化拠点
- 自然・交流拠点
- びん沼自然公園

<軸>

- (道路交通軸)
- 核都市広域幹線道路
- 広域幹線道路
- 幹線道路
- 都市交流軸
- 水とみどりの軸
- 行政界(市域界)
- 鉄道駅

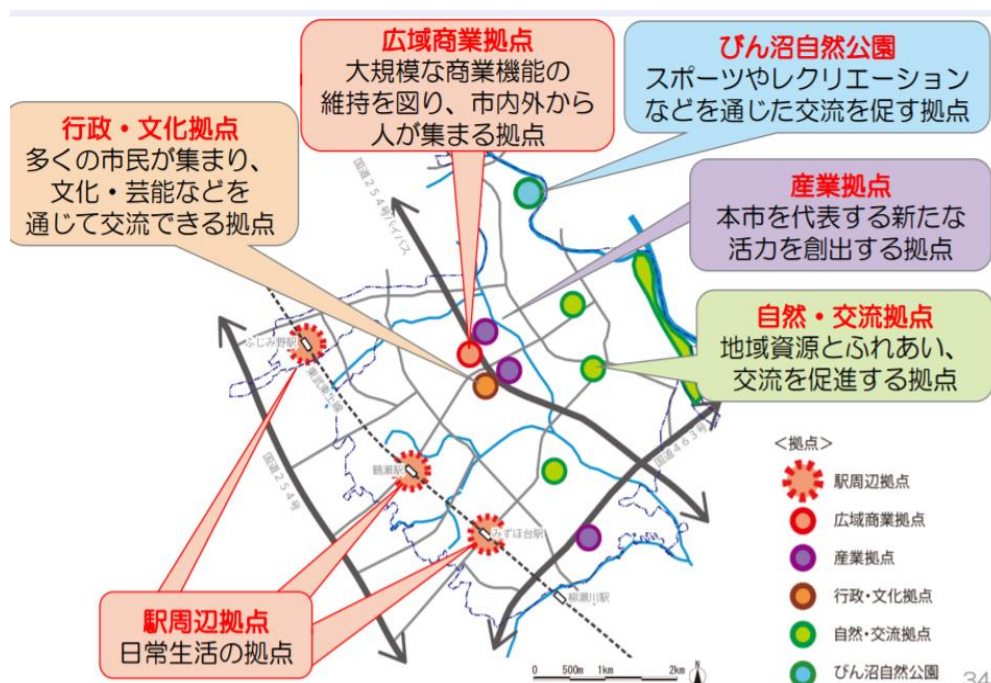


4. 土地利用



33

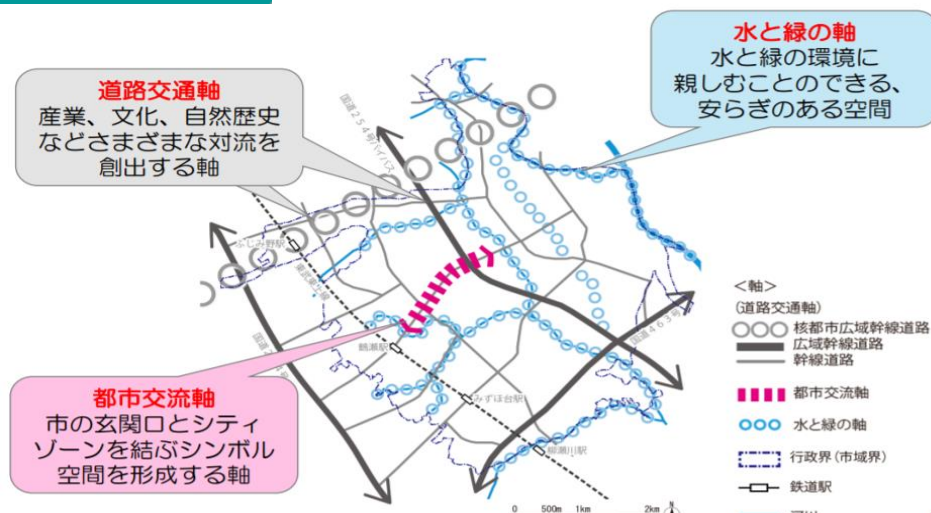
5. 拠点



34

6.

軸



7.

みずほ台、鶴瀬、ふじみ野駅の周辺

店舗が集まり、徒歩や自転車、バスで訪れる買物客たちで賑やかな、歩いて楽しいまちになっています。徒歩で買い物、用事を済ませる快適な暮らしを送れます。



8.

駅から少し離れた戸建て住宅地

通勤や日常の買い物は徒歩や自転車のほか、利用しやすくなった公共交通で移動しています。多様な世代が緑豊かでゆとりある暮らしを送っています。



9.

シティゾーンと水谷柳瀬川ゾー

市内外から多くの人が集まり、商業、文化、産業、医療、教育など、様々な活動を通じ、相互の魅力を高め合う多彩で活気ある場所になっています。



10. 集 落 地

まとまりのある集落地が維持され、農業などを通じた地域活性化が進んでいます。

公共交通が利用しやすくなったり、鉄道駅や基幹的なバス路線から離れた地区での移動手段が改善され、生活に不自由しない住環境が形成されています。集落地 39 内容に対するご意



4. 新型コロナウイルス感染症緊急支援策

1. 42 事業 約 15 億円の支援

第1弾	5月 臨時会	7 事業	2億6,100万3千円
第2弾	6月 定例会	11事業	1億4,438万7千円
第3弾	7月 専決処分	22事業	9億9,488万3千円 ※水道会計の減収見込額も含む
第4弾	8月 定例会	2事業	9,703万4千円

2. 緊急支援策 第1弾の主な内容

①スクスク子育て応援特別給付金

国の特別定額給付金の基準日を過ぎて生まれた子ども
(令和2年4月28日から12月31日まで)を対象とした給付

②中小企業融資

経営の安定に支障が生じている中小企業者に、新たな融資制度による支援
(融資あっせん、利子補給2年間、信用保証料補助)

3. 緊急支援策 第2弾の主な内容

- ①学校教育支援 学校給食費7月・8月分を無償化
- ②ひとり親世帯臨時特別給付金
ひとり親世帯に、子ども一人当たり3万円を給付
- ③ ももクロからの寄附金を活用した保健衛生用品の購入
公立保育所、放課後児童クラブに体温計、消毒液などを購入

4. 緊急支援策 第3弾の主な内容

- ①地域経済支援事業パッケージ
 - ・市内共通商品券の発行
 - ・市内消費活性化クーポン券の発行
 - ・事業者向け給付
- ②市民生活支援事業
 - ・水道基本料金減免(2月使用分)
 - ・スクスク子育て応援特別給付の対象期間を拡大(R3.1.1～3.31)
- ③ 高齢者に対する支援
 - ・高齢者インフルエンザ予防接種補助(10.1～)
 - ・高齢者肺炎球菌予防接種補助(4.1～)

5. 緊急支援策 第4弾の内容

- ①感染症等予防対策
 - ・妊婦及び子ども(生後6月から中学3年生まで)のインフルエンザ予防接種費用の補助:上限5千円(10.1～)
 - ・高齢者のインフルエンザ予防接種に係る自己負担額補助を償還払い方式(申請方式)から現物給付方式(手続き不要)へ(10.1～)
- ②生活困窮者自立支援 緊急支援策
 - ・住居確保給付金の利用者数の増加に伴い、給付金を増額

